

いじめ防止ラウンドテーブルに下郷中学校生徒会が参加

8月18日(金)に、環境創造センター「コミュタン福島」を会場に「いじめ防止ラウンドテーブル」が開催され、いじめ防止に積極的に取り組む下郷町立下郷中学校、白河市立白河中央中学校、広野町立広野中学校の生徒会の皆さんが、いじめ防止に対する取組の発表と意見交流を行いました。

この取組は、浜通り、中通り、会津地方の中学生が、中学生だからこそ感じているいじめに対する生の声を取り上げ、いじめに向き合う意識を学校全体で高めていこうというもので、令和3年度から始まっていましたが、実際に参集して実施されたのは、今年度が初めてです。

以下は、下郷中学校の6名の皆さんが発信した自校の取組内容や他校生徒との意見交流で見せた姿をまとめたものです。

各校の発表 ～下郷中学校の取組～

(1) 学校のスローガン「認め合い 思い合う 下中生」について

○生徒会から校長先生へのインタビュー

- ・スローガンに対する校長先生の思いや願いを伺った。

○生徒会スローガンの設定

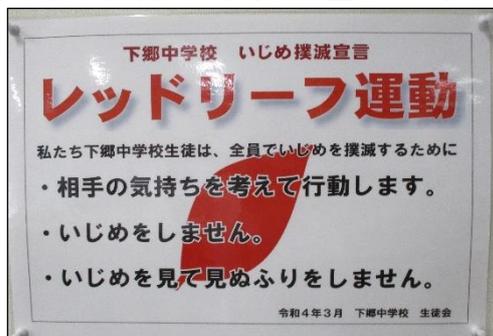
- ・校長先生へのインタビューを基に、生徒会スローガン「Respect others ～個性あふれる学校へ～」を設定した。



Respect others...一人一人の個性を尊重 個性が輝く学校へ

(2) いじめをなくすために

○下郷中学校 いじめ撲滅宣言「レッドリーフ運動」



- ・「レッドリーフ運動」のリーフレットを各教室に掲示したり、生徒全員に配付したりした。
- ・「レッドリーフ運動」の主旨をみんなで考え、各学年でいじめをなくすために大切なことを話し合った。
- ・「レッドリーフの木を育てよう運動」を展開し、生徒自身が気付いた下中生のよさを葉っぱの形の紙に書いてもらい、掲示することで、集団としての肯定感や下中生としての自覚の高まりを促した。

○哲学カフェによる話合い

- ・1年生から3年生が交ざり合ったグループで、テーマに沿った意見交流を自由に行う「哲学カフェ」を定期的に行っている。「いじめ」に関するテーマでも話し合った。

○SNS機器の使用に関する「3K」

- ・「健康のK 家庭学習のK 危険な使い方のK」の3つのKを生徒会総会で協議し、内容確認をするとともに決議した。

下郷中学校生徒会の皆さんは、夏休み中に準備や話合いを進め、発表原稿をまとめたり、発表資料を作成したりしてくださいました。また、自校の活動に生かせることはないかという意識をもって他校の発表をうなずきながら聞いたり、メモを取ったりしていました。



他校との意見交流より

各校の発表後は、「SNSによるいじめとどう向き合うか」というテーマでグループ協議を行いました。周りにいる引率教員や指導主事などの大人は一切口を挟まず、生徒だけで話し合う時間でした。最初は戸惑う生徒たちでしたが、一人、二人と自分の考えを話し出すと、続けて他の生徒も話し始めました。しばらくすると、話し合う中で見えてきた課題を整理して内容を焦点化する生徒、知っている具体的な事例を挙げて話す生徒、前の生徒の発言をつなげて話し出す生徒など、子供に委ね・任せすることで、「自分事」として真剣に話し合う生徒の姿が見られました。

自分の発信した内容を見た相手がどう感じるのかを考える力が大切だと思う。発信する側には責任があることをもっと学ばなくてはならないような気がする。



グループLINEでは、すぐに既読にしないと無視したと友だちに勘違いされてしまう。だから、勉強中もスマホが気になってしかたがない。

そうだね。グループLINEになるとどんどん話が進んでしまうから、すぐに返信しないと話についていけなくなるよね。



ある一人の書き込みがよくない内容だと感じて同調してしまうことがあるよね。それもいじめに加担していることと同じだし、見て見ぬふりをしている人も同じ責任があると思う。

SNSで友だちの悪口を書いている人がいて注意した人がいたけれど、こんどはその人が悪口の対象になってしまった。そんな時は、どうしたらよかったのだろう。

その他のエピソード

★ いじめ防止ラウンドテーブルの開会前に、「コミュタン福島」を見学しました。所員の方から、東日本大震災による被害や復興に関する内容の説明を受け、その被害の大きさを改めて感じたり、新たな気づきを得たりした生徒たちの姿が印象的でした。



「いじめ防止ラウンドテーブル」の様子は、福島県教育委員会 公式 note 福島県学びの情報プラットフォームに掲載される予定ですので、ぜひご覧ください。

